稲毛新聞　会社沿革

平成 8年 8月	有限会社SK企画設立 稲毛新聞創刊号発行
平成10年10月	JLNAブロンズ賞受賞
平成12年10月	JLNAブロンズ賞2度目の受賞
平成13年 5月	宝くじ5千万円当選くじ紛失事件スクープ報道
平成15年 4月	㈱千葉新聞社設立「ちばニュース」にリニューアル創刊
平成16年 1月	㈲稲毛新聞社設立「稲毛新聞」に再リニューアル発行
平成16年11月	事務所移転
平成17年 1月	創刊100号発行
平成19年12月	BSフジローカル新聞大賞ノミネート
平成25年 5月	創刊200号発行
平成28年10月	創刊20周年感謝の集い開催
平成30年 5月	上諏訪温泉親睦旅行
令和 2年 7月	ちばテレビ「お昼の快傑TV」出演
令和 2年 9月	TBS「噂の東京マガジン」出演
令和 3年 5月	佐藤節子代表就任
令和 3年 9月	創刊300号発行

稲毛新聞
merma INAGE
9月22日号 創刊号
稲毛構内タクシー 279-1234
稲毛西口駅前通りを近隣商業地域に
“稲毛の表玄関”の繁栄を願い用途指定変更を請願
市の副都心稲毛駅周辺の見直し必要
今のままでは西口は衰退する一方
わずか一カ月で千人以上の署名集める
東口と西口と違う都市計画用途指定
祝 稲毛新聞創刊
●私どもはJR稲毛駅西口の運動を支援します。
《当社の主な営業活動》
○不動産の売却及び買い替え
○借地権、底地権の売却及び交換
○空き地の有効利用
○空き賃貸不動産の斡旋
女性社員募集
株式会社 だいあん 大安不動産
☎043-245-3975

一九九六年（平成8年）9月22日発行 創刊号の1面
稲毛西口駅前通りを近隣商業地域に
創刊号から鋭い切り口で地域の情報を提供

1996年9月22日に発行された創刊号では、1面の記事は地域に根差した取材で稲毛駅西口と東口の繁栄格差について取り上げた。創刊時から独自の視点を基に鋭い指摘を展開した。2面は稲毛駅東口のムク鳥の糞害苦情、稲毛区の人口減少に伴う都市計画の遅れを指摘。3面には千葉港工場地帯で行われている花火大会の稲毛海岸実施を提案。6面は千葉北清掃工場完成の記事、稲毛の丸山製作所工場の東金移転、稲毛区民祭りなどの記事が中心に。7面には秋の交通安全運動、小中台中学校の創立50周年を祝う記事、そして北部図書館（現稲毛図書館）の完成を報じている。8面（終面）には「稲毛ガイド」、「あの店この店」といった地域の情報やお店を紹介するページになっている。また、見開きの中面4、5面には稲毛新聞創刊の思いを創始者であり、4月に永眠した前社長、佐藤正成が挨拶を兼ねて語っている。それに対し各方面から創刊を祝うコメントが寄せられている。その顔ぶれが佐藤の人柄、人脈を物語っている。当時の自民党千葉県連会長、参議院議員の井上裕氏、新進党千葉県連会長の衆議院議員、岡島正之氏、千葉市長の松井旭氏、千葉県議会議員の加賀谷健氏、同じく千葉県議会議員の阿部紘一氏、千葉市議会議員で副議長も務めた中山善郎氏らそうそうたる顔ぶれだ。全国には稲毛新聞のような地域コミュニティ紙はたくさん存在するが、このように政治家がコメントを出してくれるような情報紙はそう多くないと思われ、創刊号から存在感のあるメディアだったと思われる。その他にも創刊を祝う企業様からの名刺広告が32社、通常の広告が25社掲載されている。中には創刊から現在に至るまで300号続けて広告を掲載していただいている企業様もある。また、5面には現在も多くの応募がある人気コーナー「クイズ&アンケート」も今とほぼ変わらない形で掲載されている。このように創刊から現在まで、多くの読者と広告主様に支えられ発行を続けている。

1996年（平成8年）千葉県生まれの主な有名人

歌手	新浜 レオン
俳優	飯田 有咲
	市來 玲奈（日本テレビアナウンサー）
体操	萱 和磨（東京五輪体操代表）
	谷川 航（東京五輪体操代表）
ボウリング	水野 耕佑
将棋	近藤 誠也
サッカー	中谷 進之介（名古屋グランパス）
	鈴木 優磨（シント＝トロイデン）
	仲村 京雅（タンピナス・ローバース）
	高橋 一輝（AFCエシルストゥーナ）
プロ野球	伊藤 将司（阪神タイガース）
	岡本 直也（福岡ソフトバンクホークス）
	重田 倫明（福岡ソフトバンクホークス）
大相撲	美浜海（玉ノ井部屋）
	津軽海（玉ノ井部屋）

25 千葉市・モントルー市 姉妹都市提携から25年

千葉市とスイスのモントルー市が姉妹都市として提携したのは平成8年5月28日。ジャズ・フェスティバルや国際会議開催地としても有名なリゾート・コンベンション・シティであるモントルー市はスイスのレマン湖地方ヴォー州に属する都市。湖に面した斜面に広がるぶどう畑など、大自然に恵まれた地域で重要産業は観光やワイン。毎年7月開催の「モントルー・ジャズ・フェスティバル」は有名な音楽家が多数参加する世界的に有名なイベント。モントルー市と千葉市は毎年交互に青少年の派遣を行い、市内ホームステイを実施。直近では令和元年7月31日にモントルー市の青少年5人と引率者1人が千葉市役所を訪問している。

25 年前のプロ野球はオリックスブルーウェーブ初の日本一に！

前年1995年に起こった阪神・淡路大震災により壊滅的な被害を受けた神戸市。その神戸を本拠地としたオリックスは仰木監督のもと「がんばろうKOBE」を合言葉に劇的な優勝を遂げた。その翌年1996年にもイチロー、田口らの打線と星野、野田を中心とした投手陣の活躍で2連覇を達成。日本シリーズでも巨人を下し、前身の阪急ブレーブス時代以来19年ぶり、オリックスとしては初の日本一に。イチローは首位打者、最高出塁率などのタイトル獲得、MVPに輝いた。

25 私たち結婚25周年を迎えました

稲毛新聞創刊25周年おめでとうございます。私たち夫婦もなんとか結婚25周年を迎えることができました。

我が家は若葉区ですが、稲毛新聞が毎月ポストに入っていて15年以上は読んでいます。身近なニュースが載っていて隅から隅まで読ませてもらってます。23歳になる長女が時々感想のようなものを稲毛新聞さんにメールを送っているらしく、新聞に取り上げられたことがあり喜んでいました。

25年前、旅行が好きな私は新婚旅行をアメリカ西海岸にしました。ロサンジェルス、サンフランシスコ、ラスベガスなどを巡りました。サンフランシスコではアメリカンフットボールの試合を観戦しました。その後も国内外問わず何度も旅行に出かけています。中でもいちばんの思い出は家族4人で行ったハワイでした。娘2人がそれぞれ14歳、10歳で初めての海外、初めての飛行機でした。家庭内にちょっとした悩みがあった頃で、思い切って出かけたハワイ、その美しい夕陽に感動し、浜辺で家族4人涙したことが忘れられません。今はコロナ禍で旅行も行きにくい世の中です。元に戻るのかどうかもわかりませんが、まずは家族の健康と幸せを、そしてコロナが早く終息することを願ってこの辛い時代を乗り越えていければと思います。また、稲毛新聞30周年期待しています（稲毛区・田中芳弘）

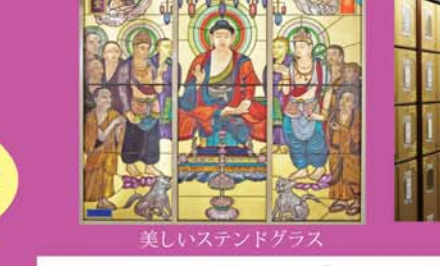
千葉で80年続くフルーツと野菜の専門店
Fruit & Vegetable Shop YOSHIDAYA ヨシダヤ
TEL. 043-222-2508
FAX. 043-225-0679
〒260-0012 千葉市中央区本町 2-3-12

ご来店お待ち申上げます
ラウンジ夢子
TEL.043-215-7015
FAX.043-215-8068
千葉市中央区中央 3-4-13.5F

食糧庁長官賞受賞店 のざわ米店
食べる米ぬか健康法「玄きな粉」製造・販売
特許第3788794号
千葉市稲毛区小深町127
【日曜・祝日定休】☎043-422-2517

誠実をモットーに地域社会に奉仕する
土地・マンション・売買・仲介
千葉県知事・第3588号
株式会社 ときや不動産
千葉市稲毛区小仲台 6-2-16
☎043-253-0503（代）

萬徳院 釈迦寺（しゃかじ）
稲毛大納骨堂
JR稲毛駅すぐ
大納骨堂・合祀墓
お一人様用 40万円～　特別合祀 25万円

特別合祀 月命日読上供養付き 募集中
●僧侶による毎日の読経供養
●充実した施設
●寄付の強要なし
●ローンの準備もございます

美しいステンドグラス

安心の対面式納骨堂

お問合せ先
0120-787-800
〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東 4-12-2
https://www.syakaji.jp

次回発行日は10月1日（金）

身近な情報は電話〇四三（二五六）四四一四へ

稲毛新聞は、おかげさまで創刊25年&300号を迎えました。

「往古（過ぎ去ったとき）」に思いを寄せながら、「来今（今から後）」へ希望を託し、様々な25年を特集しました。

タイトル文字製作
アート書道家
矢野 華風（やの　かふう）
船橋市在住
産経国際書展・産経アート書展・東京書作展入選作家/日本書道藝術院師範/日本選抜美術家協会委員。ロゴデザインや各種企業イベントで大筆パフォーマンスも行う。

25周年を迎えて

今年、稲毛新聞は創刊25周年を迎え、今回が第300号となりました。

この25年間、一度も休刊することなく続けることができたのは、読者の皆様やスポンサー様をはじめ、多くの方に支えていただいたおかげと心より感謝申し上げます。

稲毛新聞の創刊号発行は平成8年9月22日でした。亡き先代社長はそれまで柏で「東葛まいにち」という毎日新聞の折込紙を約10年発行した後、地元千葉で役立つ新聞を出したいと稲毛新聞を創刊しました。今、改めて創刊号を見ると、懐かしさで胸がいっぱいになります。亡くなった主人と二人で立ち上げてから、あっという間の25年でした。

今後も先代の意思を継ぎ、皆様に満足していただける新聞を発行するためにスタッフ一同、邁進する所存です。

有限会社 稲毛新聞社
代表取締役　佐藤節子

25年間稲毛新聞に勤務しています

1996年の創業年から稲毛新聞をお手伝いしています。稲毛新聞創刊号のスタッフ募集を見て面接を受けたのがきっかけです。

4月に亡くなった先代の社長とは同じ秋田県出身ということもあり、ご縁を感じました。採用後は、紙面用のイラストを手書きしたり、郵送用の新聞を折り畳んだり、自分の住む地域へ新聞を配布をしたり、パートタイマーとして25年勤めてきました。

千葉テレビで今も放送中の「千葉テレビカラオケ大賞」に先代社長が出演したときには、お手製の応援うちわを振って応援、その場を盛り上げたことは素敵な思い出になっています。創業記念パーティーでは受付を担当し、多くのお客様にお会いできたなど、この25年間はとても楽しく仕事をさせていただきました。

今後は自分自身がもっと地域に関わり、記者や漫画にも挑戦したいと考えています。（稲毛区・スタッフみいこ）

25年間、南房総で海の幸を提供 磯料理 みずるめ

南房総市白浜町の観光名所、野島崎灯台のすぐ手前にある「みずるめ」は、25年この場所で営業を続ける磯料理店。テレビや雑誌のメディアでも度々、紹介されている有名店で、遠方からのリピーターだけではなく地元住民も通う人気ぶりだ。

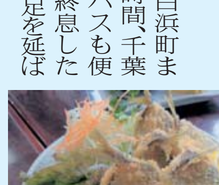
板長を務める赤塚太郎さん（52）は地元出身で、向島の割烹「水の登」をはじめ、「弁慶」「熊魚菴たん熊北店」ほか、様々な老舗で20年以上の経験を積んできたプロの料理人。12年前に地元に戻り、板前の大先輩でもある父親と二人三脚で腕を振るっている。

おすすめメニューは、地元産のアワビ・サザエ・伊勢海老・クジラ・地魚料理、郷土料理の「なめろう」「さんが焼き」など。定食のなかで一番人気はサクサクのアジフライがメインの「みずるめ定食」。ご飯・みそ汁・小鉢・茶わん蒸し・漬物もついて1100円というサービス価格がうれしい。

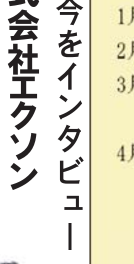
コロナ禍では緊急事態宣言の再発令を受け8月中は休業するなど、昨年から厳しい経営状況が続いている。それでも「美味しい魚を食べに白浜へ来てくれるお客様のためにも、早く営業を再開したい」と前向きな赤塚さん。

千葉市から白浜町までは車で約2時間、千葉駅からは高速バスも便利。コロナが終息したら、南房総まで足を延ばし海の幸を堪能してみたい。

◇磯料理みずるめ◇千葉県南房総市白浜町白浜627◇電話0470・38・2076◇営業時間11時30分～16時（水曜日定休）※悪天候時やネタ終了次第に閉店または臨時休業あり。お出かけ前に確認を。



25歳の今をインタビュー 株式会社エクソン DXエンジニア 荒巻智隼さん
目指すはデジタルサービスのエキスパート



幼少時から飛行機が好きだった荒巻智隼さんは、ものづくりにも興味があり、大学のサークルでは読売テレビの「鳥人間コンテスト」に出場。人力飛行機の製作に力を注いだが、台風の影響で飛距離が伸びなかったと苦い経験を持つ。

学生時代は人財開発のコンサルティング企業、㈱エクソン（本社・花見川区幕張町）でアルバイトやインターンの経験を積んだ後、今年4月に入社。現在はDXエンジニアとして動画配信などのデジタルサービスや新システム導入に向けた事前調査、それに伴う補助金申請を担当している。「新たなシステムについて勉強したり、弊社にはどのようなシステムが役に立つのか考えたり、実際の導入作業も面白いと感じています」。新人ならではの発想力が生かせる職場で、会社の戦力になろうと一生懸命だ。そんな荒巻さんが目指すのはデジタルサービスのエキスパート。そのために休日も出社しスキルアップに励むなど努力を惜しまない。

コロナ禍のプライベートでは、自宅で動画を見ながらピラティスを始めたという。「インナーマッスルに効くのでイメージと違って結構きついです」と苦笑い。また、ボランティア活動として、性教育指導に使われるイラスト素材集のサイト製作とその広報にも携わるエネルギッシュな25歳。

25年間大事に乗り続けています。

創刊25周年おめでとうございます。毎月楽しみに読ませていただいております。一度プレゼントが当選したこともあります。

私は大のクルマ好きで愛車はロードスター。新車で購入して今年25年が経ちました。走行距離は約17万キロ。少し乗らない時期があったので年数の割には少な目です。

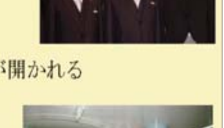
コンディションはまあまあです。もちろん25年の間に多少のトラブルはありましたが、定期的なメンテナンスの甲斐もありまだまだ現役です。

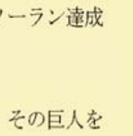
今も休日には妻を助手席に乗せドライブに出掛けたりもします。出先で声を掛けられたりすることもあります。ディーラーでも若いスタッフは興味津々で見ています。若い頃には北海道まで行ったこともあります。今時のクルマのような便利な機能はありませんが、そこがまた良いところでもあります。

実は来年定年を迎えるので記念に新しいクルマへの買い替えを考えています。もちろんこのクルマに愛着もあるのですが、もう年なので楽なクルマに乗りたい気持ちもあります。あと半年、壊れずにいてくれることを願っています。（若葉区・竹内彰浩）

稲毛新聞の創刊から25年が経ちました。25年という月日は決して短い時間ではありませんが、思い起こしてみるとそれは1996年（平成8年）、そろそろ20世紀も終盤に差し掛かる頃でした。その年はどのような年だったのでしょう。（太字は千葉県内）

1月	村山首相退陣、橋本政権発足
2月	羽生善治が王将戦で谷川浩司王将を破り史上初の将棋タイトル7冠独占
3月	東京臨海高速鉄道りんかい線、新木場駅～東京テレポート駅間開業
	春のセンバツ甲子園に拓大紅陵が出場
4月	東京三菱銀行発足
	オウム真理教の元教祖麻原彰晃（本名：松本智津夫）被告の初公判が開かれる
	東葉高速鉄道、西船橋駅～勝田台駅開業
	県庁本庁舎完成
5月	2002年サッカーワールドカップの日韓共同開催決定
	千葉県国際総合水泳場（習志野市）オープン
6月	中国が核実験
7月	大阪で大腸菌O157による集団食中毒発生。患者数9,523名、死亡3名。厚生省が伝染病に指定。
	アトランタオリンピック開催。日本は柔道の野村忠弘ら金3、銀6、銅5のメダル獲得。
	サッカーでは日本代表がブラジル代表を破り「マイアミの奇跡」と称される
8月	東京・西新宿に東京オペラシティ竣工
	夏の甲子園大会に市立船橋が出場
9月	渥美清に国民栄誉賞
	ロサンゼルス・ドジャースの野茂英雄が日本人初の大リーグでノーヒット・ノーラン達成
	民主党結成、代表は菅直人、鳩山由紀夫
	台風17号で死傷者27名、住居浸水や道路破損などの被害
10月	プロ野球巨人が最大11.5ゲーム差を逆転して優勝、メークドラマと呼ばれる。その巨人を日本シリーズで下したオリックスが初の日本一。
	アトランタパラリンピックで金メダル獲得の荒井のり子選手に千葉県県民栄誉賞
11月	北海道で雌阿寒岳が噴火
	西武からFA宣言した清原和博が巨人入り。
12月	広島県の原爆ドームと厳島神社が世界遺産登録。





「りょうえん葬儀」
稲毛陵苑でご利用いただけます。
一日葬 311,300円（税込）より
二日葬 426,800円（税込）より

新型コロナウイルス感染予防の取り組みについて
当山では新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を防ぐため、その予防に努めております。当山職員は原則としてマスク着用をいたします。また、ご参拝・ご参列・ご見学の皆さまにおかれましても、苑内でのアルコール消毒やマスク着用などのご協力をお願い申し上げます。ご見学いただく際には、一組ずつの個別対応をさせていただいております。当苑はエントランス・墓域とも広く開放空間となっておりますので、他のお客様との区画間距離を大きく取ることが可能です。また空調・換気にも気を配っておりますのでご安心して来場ください。
【注意事項】葬儀の運営については、各提携先（葬儀社）に委託します。
稲毛陵苑は檀信徒施設となりますので、当山僧侶がお勤めいたします。
※別途冥加金をお納めください。詳細は職員にお問合ください。
稲毛駅からすぐ、お気軽に手ぶらで室内参拝
利便性
●駅近で専用駐車場も完備
●手ぶらで参拝（線香・お花不要）
●室内のため天候を気にせず参拝
趣き
●緑・水・光を感じられる参拝環境
●和型・洋型の選べるお墓スタイル
●くつろぎの屋上庭園・ラウンジ
安心
●プライベート空間を保つ参拝環境
●オリジナル納骨堂方式（トヨタL&F製）
●最新耐震構造でご遺骨を収蔵

JR稲毛駅徒歩3分
京成稲毛駅徒歩5分
無料駐車場30台完備
これからの供養のかたち
葬儀・納骨・法事すべて執り行えます
開苑時間／8:00～18:00 年中無休（365日開苑）〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東 3-7-5
稲毛陵苑 ☎043-388-0559
宗教法人毘沙門堂／稲毛陵苑概要 ●一階／管理事務所 二階／本堂・副本堂・法事室 三階／納骨堂（檀信徒向け施設）●許可番号：千葉市保健所第29-1号